

令和5年度 いじめ防止プログラム(年間指導計画)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事	○入学式 ○対面式	○近隣小学校交流会 ○生徒総会 ○運動会	○期末考査 ○家庭学習週間	○面談	○修学旅行	○移動教室	○中間考査 ○合唱祭	○面談 ○職場体験	○面談 ○人権週間	○推薦入試	○私立・都立入試	○学芸発表会
学級活動	いじめは卑劣 いじめ撲滅への宣言											
特別活動	学級開き 学級のルール作り 留意事項 いじめのない学校づくりのために生徒自らその重要性に気づき考え行動できる仕掛けを数多く提供する											
道徳	自分の良さを再確認しよう											
総合的な学習の時間	主として自分自身に関すること 自分の良さを再確認しよう											
各教科	「進級・入学に際して」 本校で良かったという実感をもたせる											
生徒指導	いじめ認知アンケート 各学期1回											
家庭・地域との連携	いじめ根絶宣言 保護者への啓発											
キャリア教育	「生徒会としての方向性を考えさせる」 いじめは絶対許さない！傍観者でない！皆で撲滅宣言！											

いじめは卑劣
いじめ撲滅への宣言

学級開き 学級のルール作り
留意事項 いじめのない学校づくりのために生徒自らその重要性に気づき考え行動できる仕掛けを数多く提供する

自分の良さを再確認しよう

主として自分自身に関すること
自分の良さを再確認しよう

「進級・入学に際して」
本校で良かったという実感をもたせる

「いじめのない学校づくり」
いじめは、いじめる側が絶対に悪い 多くのいじめは休憩時間等
起こる学級委員会を中心に皆の
目で見守り、いじめのない学校
に！

「いじめのない社会を作るために」
学級活動や部活動等で生徒の主役
となる場面の設定！

「友達の良さやありがたさを学ぼう」
友達とふれあうことで互いの良さを
認め、健全な精神をもった人になる
よう指導していく

「補充教室」勉強
がわかること
で自己有用感
をもたせる

生活アンケート
1回目

「いじめは卑劣」
人権週間と関わりを持
たせて、生徒会主体で
の取組をさせる

「いじめられたとき、目撃
したときにすべきこと」
他者の存在を認め互い
を信頼し合い、協力し
あつてより良い学校を創

「卒業・進級に向けて」
本校で良かったという実感をもたせる

「補充教室」勉強が
わかることで自己有
用感をもたせる

生活アンケート
2回目

継続事業の検証
次年度への手立て

「悩んでいる人間は自分以外にもいるんだ」
自分だけというネガティブな考え方でなく、友達や
大人も同じなんだと言うことに気付かせ、少しでも
ポジティブな考え方をもたせる指導の工夫をし、生
徒に自信を持たせ、いじめのない学校にさせる

主として自然や崇高なものとかかわりに関すること
東日本大震災等の被災者の方々の気持ちや生
徒達の作文等を活用し、支え合う命の大切さ、生
きることの大切さを学ぶ

「友達の良さ、ありがた
さを互いに認め合える
学級環境作り

「夢の実現のために」
面談等を通して生徒
の夢の実現のために
必要な助言を行う

主として他の人とかかわりに関すること
「友人関係、人間関係の確立」
生まれてきたことの幸せ、一つの命の大切さ、
支え合う命の大切さ

「いじめのない学校づくり」
いじめは、いじめる側が絶対に悪い 多くのいじめは休憩時間等
起こる学級委員会を中心に皆の
目で見守り、いじめのない学校
に！

「いじめのない社会を作るために」
学級活動や部活動等で生徒の主役
となる場面の設定！

「友達の良さやありがたさを学ぼう」
友達とふれあうことで互いの良さを
認め、健全な精神をもった人になる
よう指導していく

「補充教室」勉強
がわかること
で自己有用感
をもたせる

生活アンケート
1回目

「いじめは卑劣」
人権週間と関わりを持
たせて、生徒会主体で
の取組をさせる

「いじめられたとき、目撃
したときにすべきこと」
他者の存在を認め互い
を信頼し合い、協力し
あつてより良い学校を創

「卒業・進級に向けて」
本校で良かったという実感をもたせる

「補充教室」勉強が
わかることで自己有
用感をもたせる

生活アンケート
2回目

継続事業の検証
次年度への手立て

「悩んでいる人間は自分以外にもいるんだ」
自分だけというネガティブな考え方でなく、友達や
大人も同じなんだと言うことに気付かせ、少しでも
ポジティブな考え方をもたせる指導の工夫をし、生
徒に自信を持たせ、いじめのない学校にさせる

主として自然や崇高なものとかかわりに関すること
東日本大震災等の被災者の方々の気持ちや生
徒達の作文等を活用し、支え合う命の大切さ、生
きることの大切さを学ぶ

「友達の良さ、ありがた
さを互いに認め合える
学級環境作り

「夢の実現のために」
面談等を通して生徒
の夢の実現のために
必要な助言を行う

主として他の人とかかわりに関すること
「友人関係、人間関係の確立」
生まれてきたことの幸せ、一つの命の大切さ、
支え合う命の大切さ

「いじめのない学校づくり」
いじめは、いじめる側が絶対に悪い 多くのいじめは休憩時間等
起こる学級委員会を中心に皆の
目で見守り、いじめのない学校
に！

「いじめのない社会を作るために」
学級活動や部活動等で生徒の主役
となる場面の設定！

「友達の良さやありがたさを学ぼう」
友達とふれあうことで互いの良さを
認め、健全な精神をもった人になる
よう指導していく

「補充教室」勉強
がわかること
で自己有用感
をもたせる

生活アンケート
1回目

「いじめは卑劣」
人権週間と関わりを持
たせて、生徒会主体で
の取組をさせる

「いじめられたとき、目撃
したときにすべきこと」
他者の存在を認め互い
を信頼し合い、協力し
あつてより良い学校を創

「卒業・進級に向けて」
本校で良かったという実感をもたせる

「補充教室」勉強が
わかることで自己有
用感をもたせる

生活アンケート
2回目

継続事業の検証
次年度への手立て

「悩んでいる人間は自分以外にもいるんだ」
自分だけというネガティブな考え方でなく、友達や
大人も同じなんだと言うことに気付かせ、少しでも
ポジティブな考え方をもたせる指導の工夫をし、生
徒に自信を持たせ、いじめのない学校にさせる

主として自然や崇高なものとかかわりに関すること
東日本大震災等の被災者の方々の気持ちや生
徒達の作文等を活用し、支え合う命の大切さ、生
きることの大切さを学ぶ

「友達の良さ、ありがた
さを互いに認め合える
学級環境作り

「夢の実現のために」
面談等を通して生徒
の夢の実現のために
必要な助言を行う

主として他の人とかかわりに関すること
「友人関係、人間関係の確立」
生まれてきたことの幸せ、一つの命の大切さ、
支え合う命の大切さ

「いじめのない学校づくり」
いじめは、いじめる側が絶対に悪い 多くのいじめは休憩時間等
起こる学級委員会を中心に皆の
目で見守り、いじめのない学校
に！

「いじめのない社会を作るために」
学級活動や部活動等で生徒の主役
となる場面の設定！

「友達の良さやありがたさを学ぼう」
友達とふれあうことで互いの良さを
認め、健全な精神をもった人になる
よう指導していく

「補充教室」勉強
がわかること
で自己有用感
をもたせる

生活アンケート
1回目

「いじめは卑劣」
人権週間と関わりを持
たせて、生徒会主体で
の取組をさせる

「いじめられたとき、目撃
したときにすべきこと」
他者の存在を認め互い
を信頼し合い、協力し
あつてより良い学校を創

「卒業・進級に向けて」
本校で良かったという実感をもたせる

「補充教室」勉強が
わかることで自己有
用感をもたせる

生活アンケート
2回目

継続事業の検証
次年度への手立て

「悩んでいる人間は自分以外にもいるんだ」
自分だけというネガティブな考え方でなく、友達や
大人も同じなんだと言うことに気付かせ、少しでも
ポジティブな考え方をもたせる指導の工夫をし、生
徒に自信を持たせ、いじめのない学校にさせる

主として自然や崇高なものとかかわりに関すること
東日本大震災等の被災者の方々の気持ちや生
徒達の作文等を活用し、支え合う命の大切さ、生
きることの大切さを学ぶ

「友達の良さ、ありがた
さを互いに認め合える
学級環境作り

「夢の実現のために」
面談等を通して生徒
の夢の実現のために
必要な助言を行う

主として他の人とかかわりに関すること
「友人関係、人間関係の確立」
生まれてきたことの幸せ、一つの命の大切さ、
支え合う命の大切さ

「いじめのない学校づくり」
いじめは、いじめる側が絶対に悪い 多くのいじめは休憩時間等
起こる学級委員会を中心に皆の
目で見守り、いじめのない学校
に！

「いじめのない社会を作るために」
学級活動や部活動等で生徒の主役
となる場面の設定！

「友達の良さやありがたさを学ぼう」
友達とふれあうことで互いの良さを
認め、健全な精神をもった人になる
よう指導していく

「補充教室」勉強
がわかること
で自己有用感
をもたせる

生活アンケート
1回目

「いじめは卑劣」
人権週間と関わりを持
たせて、生徒会主体で
の取組をさせる

「いじめられたとき、目撃
したときにすべきこと」
他者の存在を認め互い
を信頼し合い、協力し
あつてより良い学校を創

「卒業・進級に向けて」
本校で良かったという実感をもたせる

「補充教室」勉強が
わかることで自己有
用感をもたせる

生活アンケート
2回目

継続事業の検証
次年度への手立て

「悩んでいる人間は自分以外にもいるんだ」
自分だけというネガティブな考え方でなく、友達や
大人も同じなんだと言うことに気付かせ、少しでも
ポジティブな考え方をもたせる指導の工夫をし、生
徒に自信を持たせ、いじめのない学校にさせる

主として自然や崇高なものとかかわりに関すること
東日本大震災等の被災者の方々の気持ちや生
徒達の作文等を活用し、支え合う命の大切さ、生
きることの大切さを学ぶ

「友達の良さ、ありがた
さを互いに認め合える
学級環境作り

「夢の実現のために」
面談等を通して生徒
の夢の実現のために
必要な助言を行う

主として他の人とかかわりに関すること
「友人関係、人間関係の確立」
生まれてきたことの幸せ、一つの命の大切さ、
支え合う命の大切さ

「いじめのない学校づくり」
いじめは、いじめる側が絶対に悪い 多くのいじめは休憩時間等
起こる学級委員会を中心に皆の
目で見守り、いじめのない学校
に！

「いじめのない社会を作るために」
学級活動や部活動等で生徒の主役
となる場面の設定！

「友達の良さやありがたさを学ぼう」
友達とふれあうことで互いの良さを
認め、健全な精神をもった人になる
よう指導していく

「補充教室」勉強
がわかること